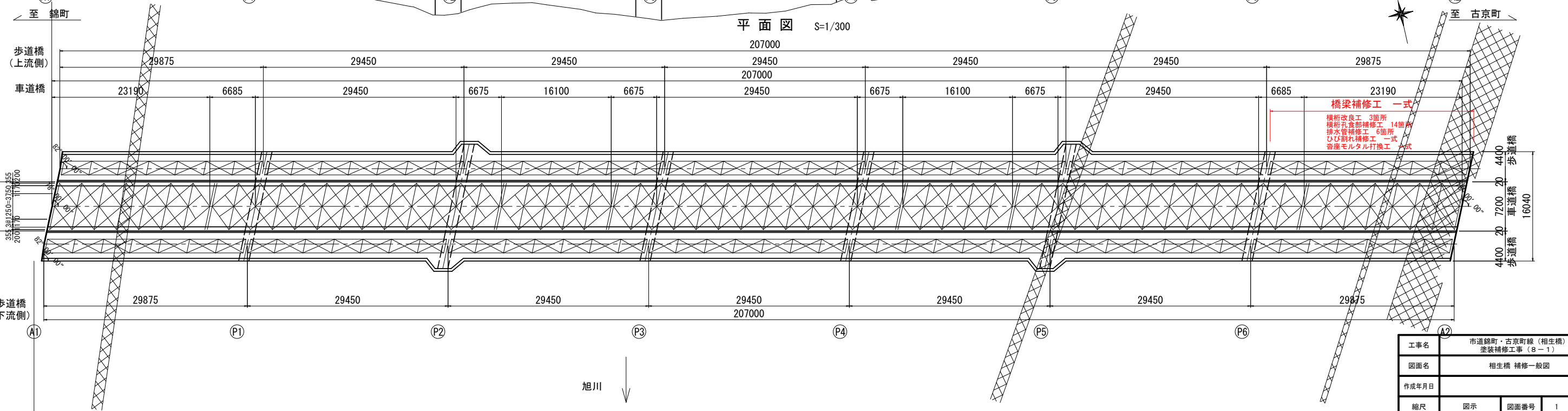
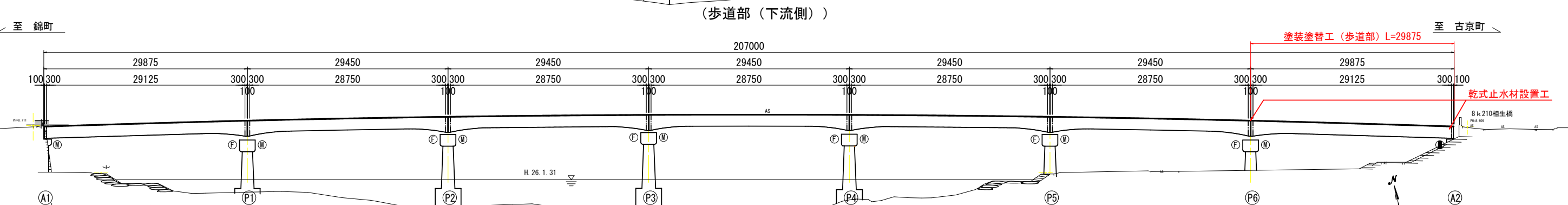
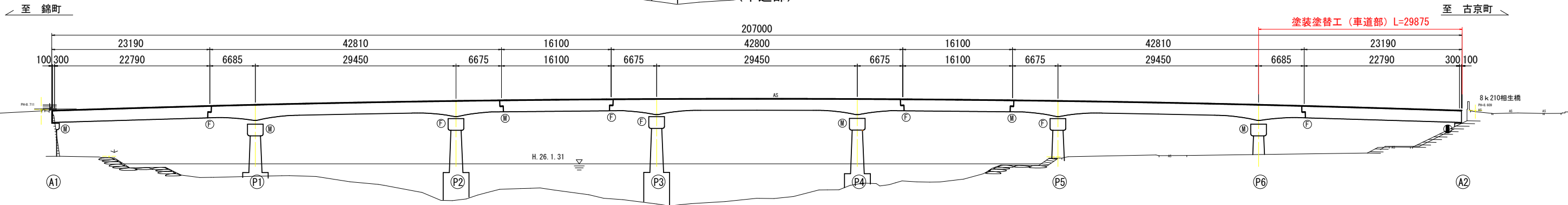
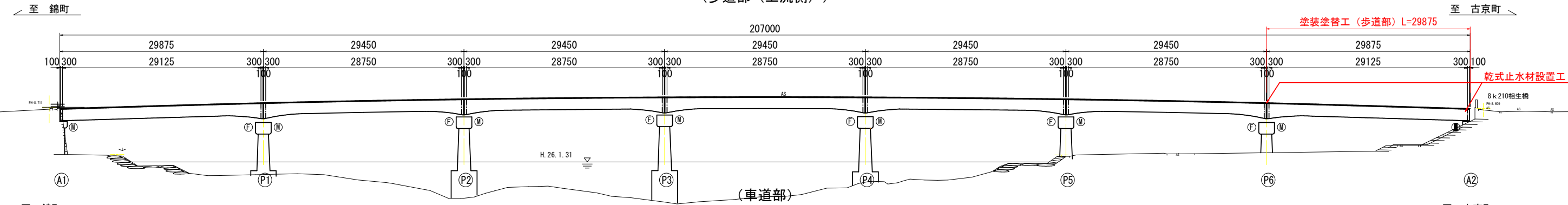


相生橋 補修一般図

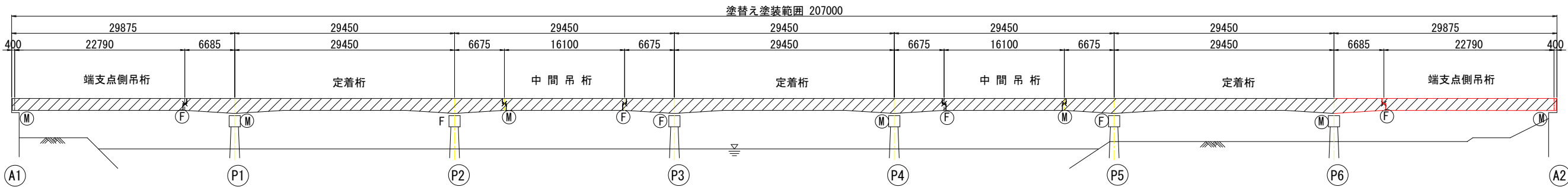
側面図 S=1/300
(歩道部(上流側))



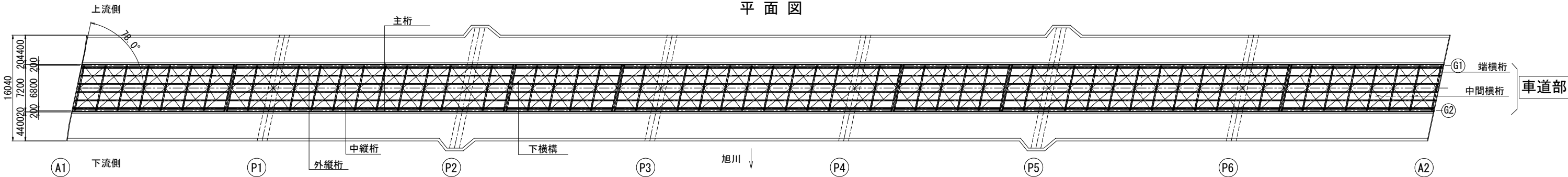
工事名	市道錦町・古京町線(相生橋)		
図面名	相生橋 補修一般図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

相生橋 塗装塗替え工詳細図(その1) S=1/300
車道部

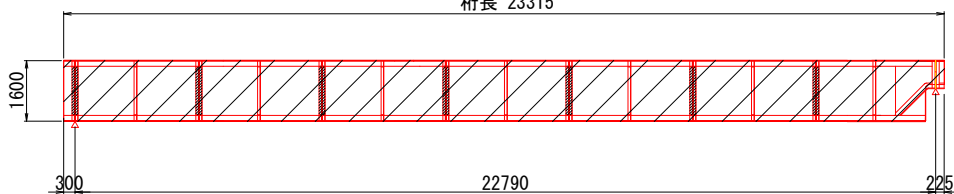
側面図



平面図

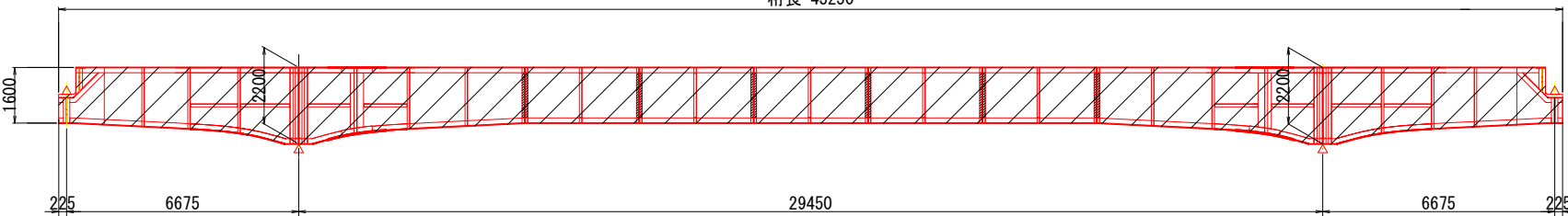


端支点側吊桁
桁長 23315



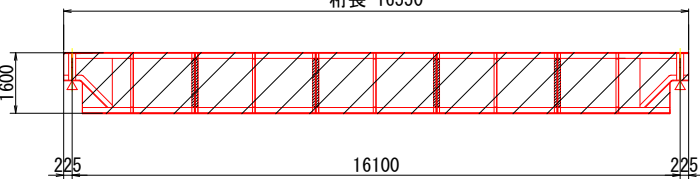
定着桁

桁長 43250

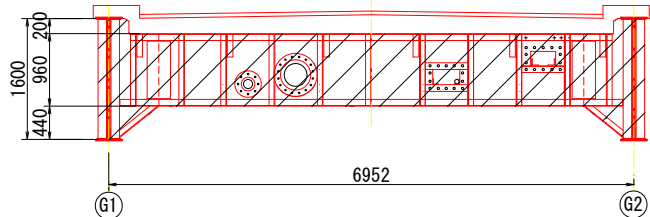


中間吊桁

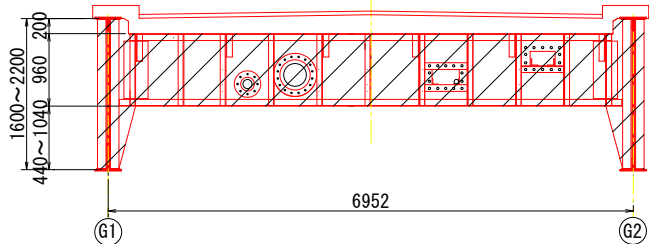
桁長 16550



端横桁

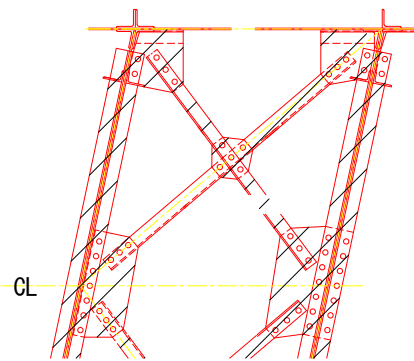


中間横桁



横桁 S=1/50

下横構 S=1/25

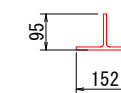
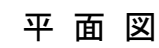


注記)

1. 本図面は既存資料と現地調査結果をもとに作成したものである。
2. 施工前に現況を再度調査、寸法計測し、数量を算出すること。
3. 本橋の既設塗膜には事前調査の結果、鉛が含まれていることが確認された。そのため、塗膜を飛散させずに除去する方法として塗膜剥離剤で除去後に塗替えを行う方針にした。
4. 塗膜剥離剤の施工・品質等に際しては、土木研究所資料、土木構造物用塗膜剥離剤ガイドライン(案)改定第2版に基づき実施すること。
5. 本線に適した塗膜剥離剤の選定を行った後、施工を行うこと。
6. 塗膜表面が結露している場合、剥離剤摘要不可のため、事前に確認すること。
7. 作業時は必ず防護衣類を着用すること。
8. 粉塵飛散防止シートを二重にし、素地調整後に一層目のシートを剥がし破棄すること。
9. 破棄するシートは鉛が含まれおび付着していることを考慮して、運搬受け入れが可能か運搬処理業者に事前確認を行うこと。

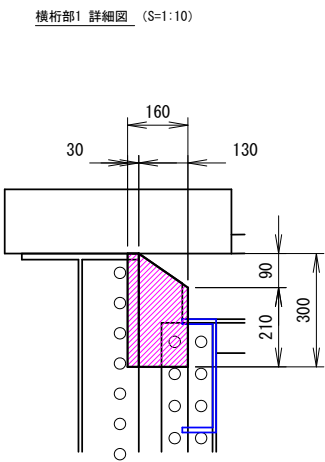
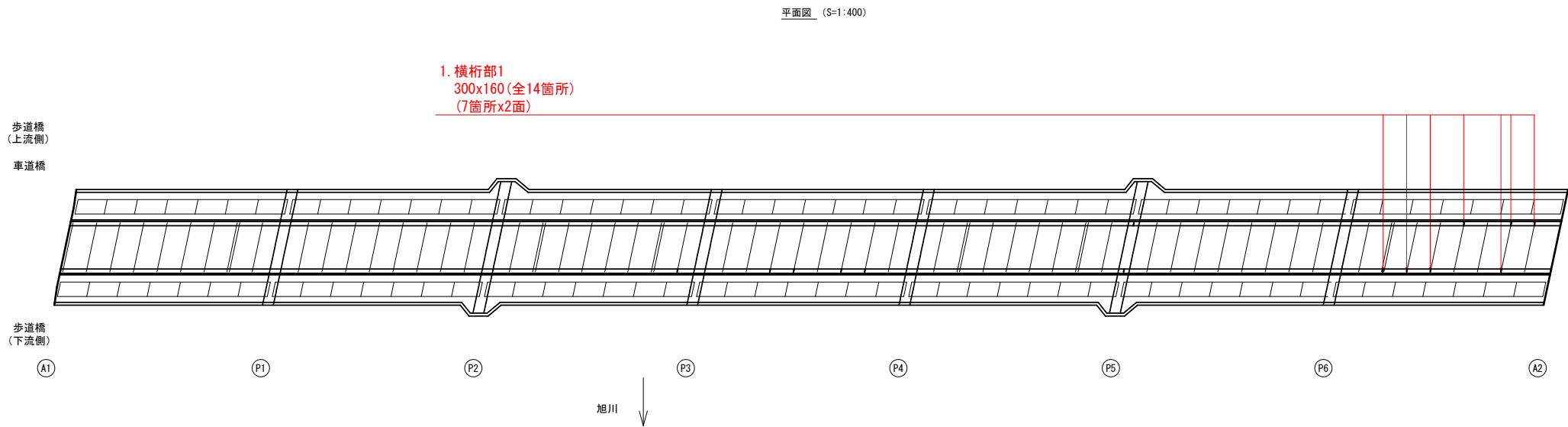
工事名	市道錦町・古京町線(相生橋)		
図面名	相生橋 塗装塗替え工詳細図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

側面図



工事名	市道錦町・古京町線（相生橋） 塗装修補工事（8－1）		
図面名	相生橋 塗装塗替え工詳細図（その2）		
作成年月日			
縮尺	図式	図面番号	3 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

相生橋 横桁孔食部補修工図

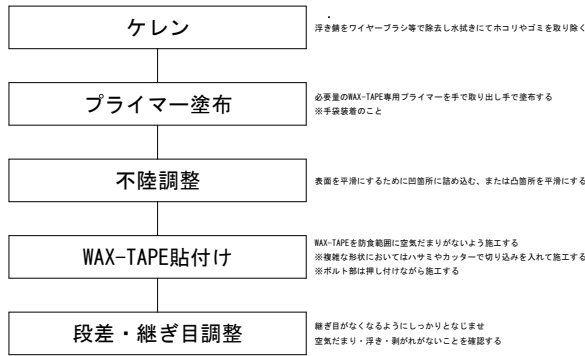


防水防食テープ設置数量表

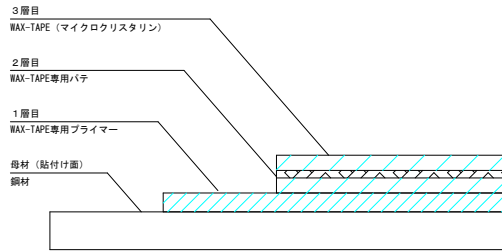
※少数第4位下切り捨て					
	項目	計算式	一枚当たり (m2)	箇所数	計 (m2)
1	横桁部1	300×160	0.048	14	0.672
合 計 面 積					0.672

※ 施工に際しては、現場測定を行い、既設の形状を確認の上実施すること。

防水・防食テープ 施工フロー



防水・防食テープ システム断面図



※WAX-TAPEはN E T I S NO. SK-180017-VR同等品以上とする。

注記

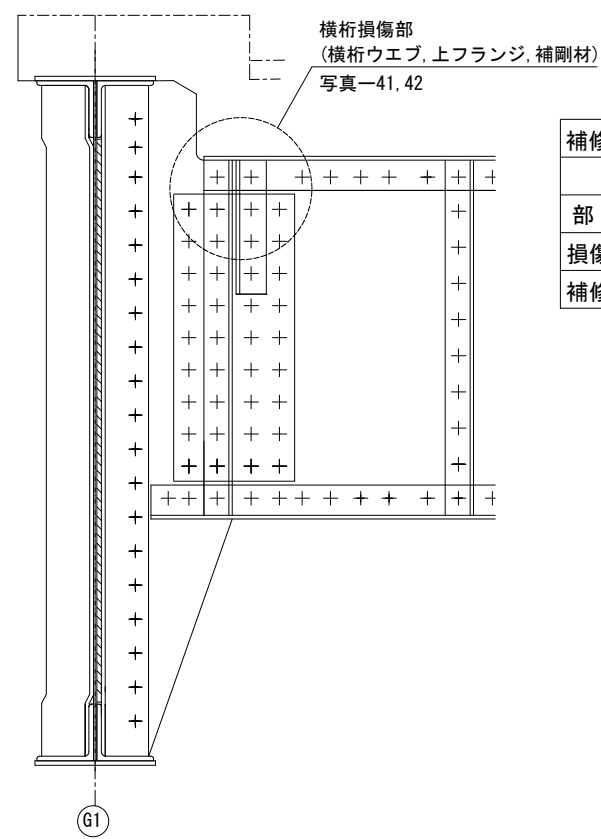
- 施工前においては、現地確認を行い補修箇所及び現地寸法を確認すること。

工事名	市道錦町・古京町線 (相生橋) 塗装補修工事 (8-1)		
図面名	相生橋 横桁孔食部補修工図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	4 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

横桁孔食部補修工詳細図(その1)

S=1/10

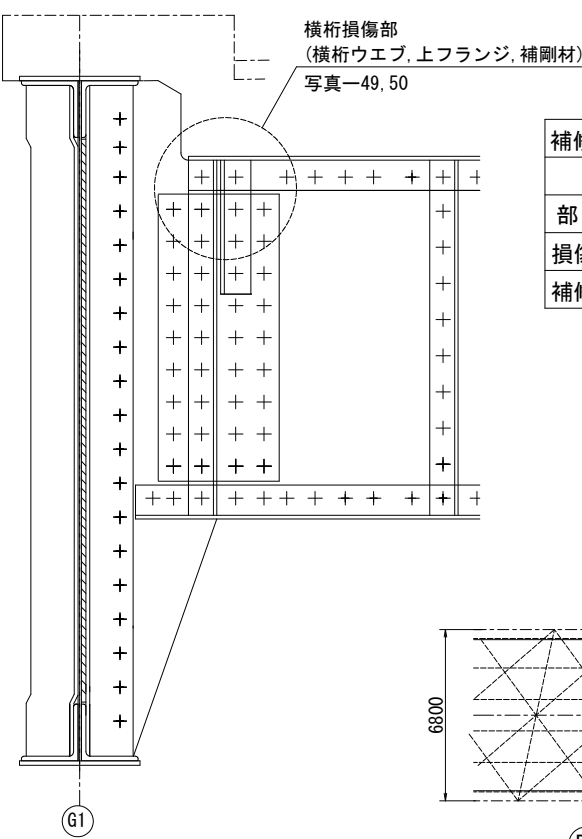
損傷箇所図 S=1/10



補修番号	No. 2
部 材	横桁
損傷状態	断面欠損、母材減厚
補修方法	防水テープ補修

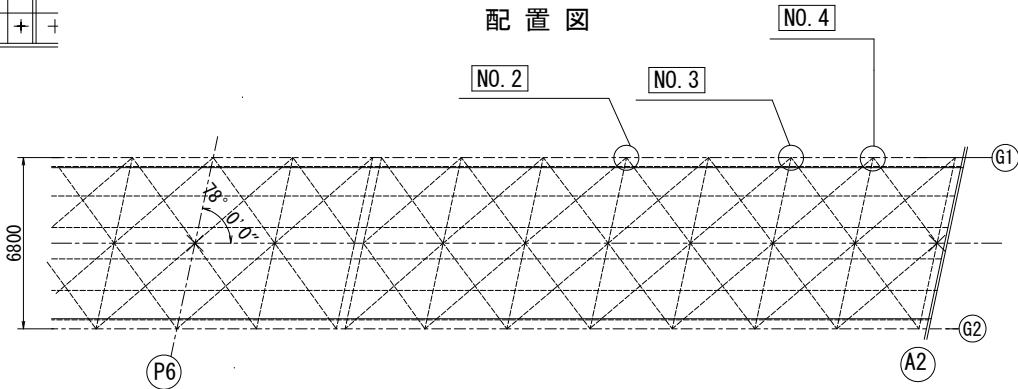
第七径間 (P6-A2) (1)

損傷箇所図 S=1/10

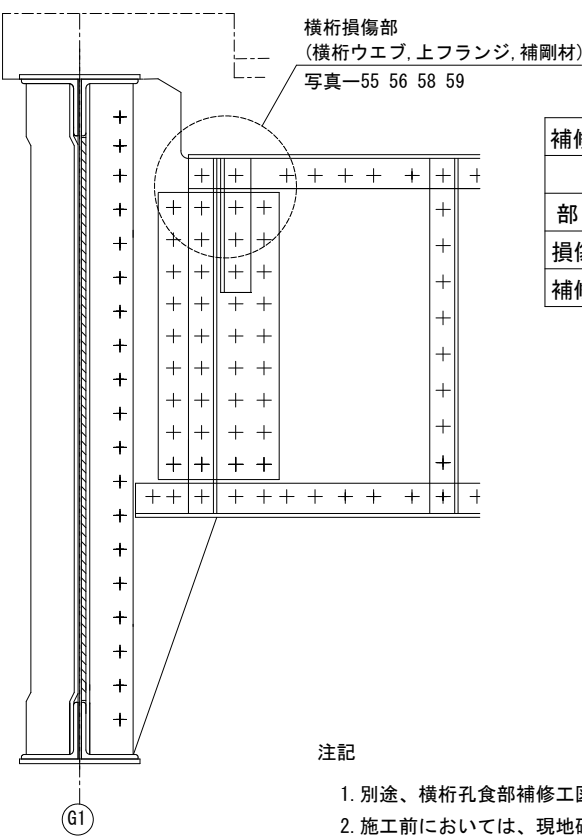


補修番号	No. 3
部 材	横桁
損傷状態	断面欠損、母材減厚
補修方法	防水テープ補修

配 置 図



損傷箇所図 S=1/10



補修番号	No. 4
部 材	横桁
損傷状態	断面欠損、母材減厚
補修方法	防水テープ補修

注記

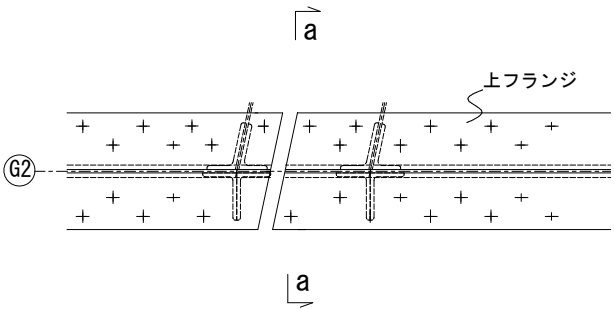
1. 別途、横桁孔食部補修工図を参照のこと。
2. 施工前においては、現地確認を行い補修箇所及び現地寸法を確認すること。

工事名	市道錦町・古京町線（相生橋） 塗装補修工事（8～1）		
図面名	横桁孔食部補修工詳細図 （その1）		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	5 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

横桁孔食部補修工詳細図(その2)

S=1/10

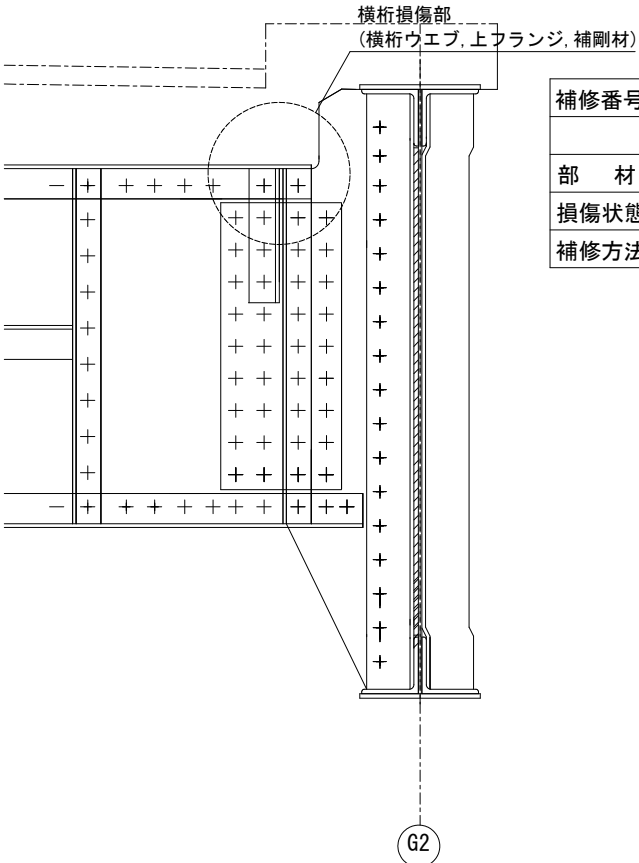
損傷箇所, 補修図



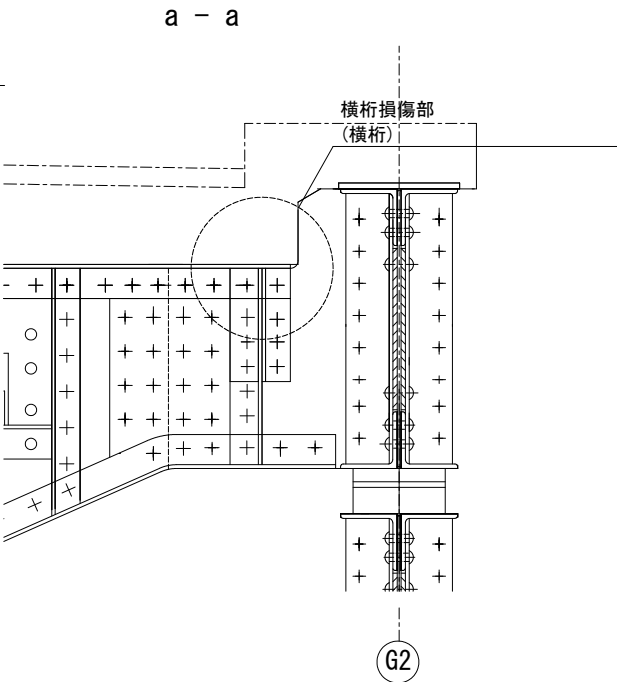
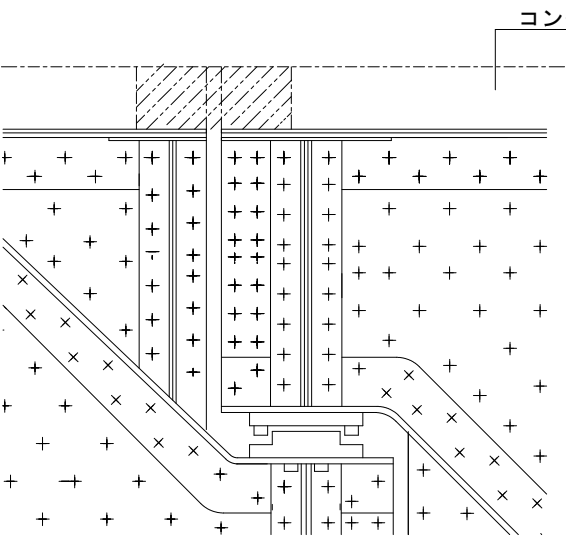
補修番号	No. 5
部 材	横桁
損傷状態	断面欠損、母材減厚
補修方法	防水テープ補修

第七径間 (P6-A2) (2)

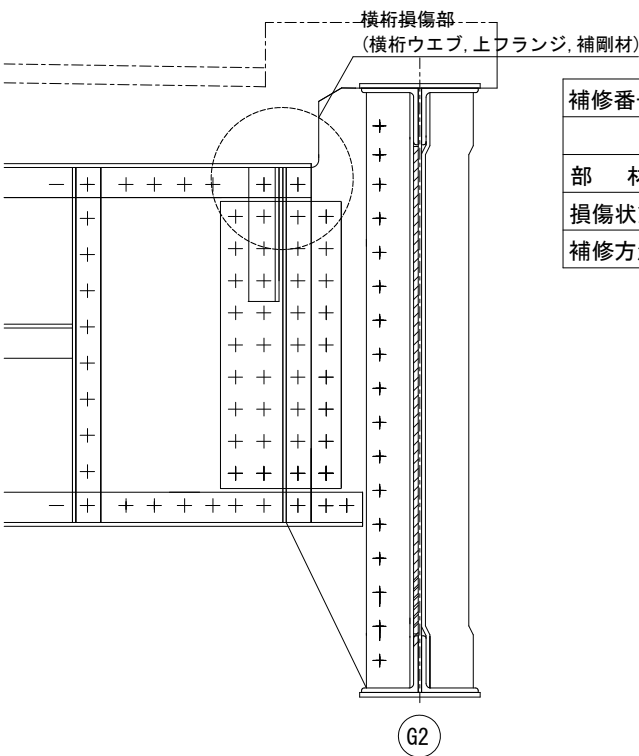
損傷箇所図 S=1/10



補修番号	No. 6
部 材	横桁, 上フランジ, 補剛材
損傷状態	断面欠損、
補修方法	防水テープ補修

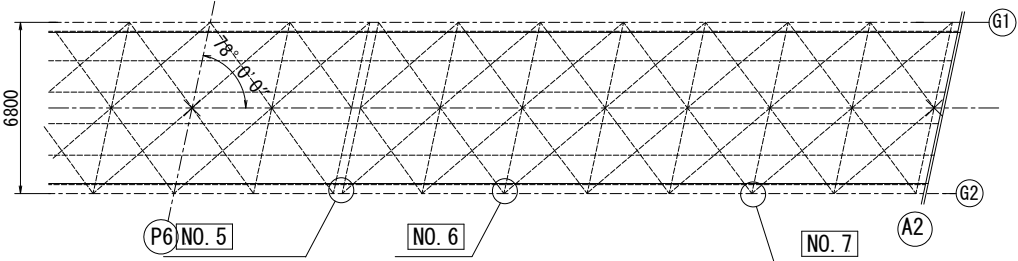


損傷箇所図



補修番号	No. 7
部 材	横桁, 上フランジ, 補剛材
損傷状態	断面欠損、
補修方法	防水テープ補修

配置図



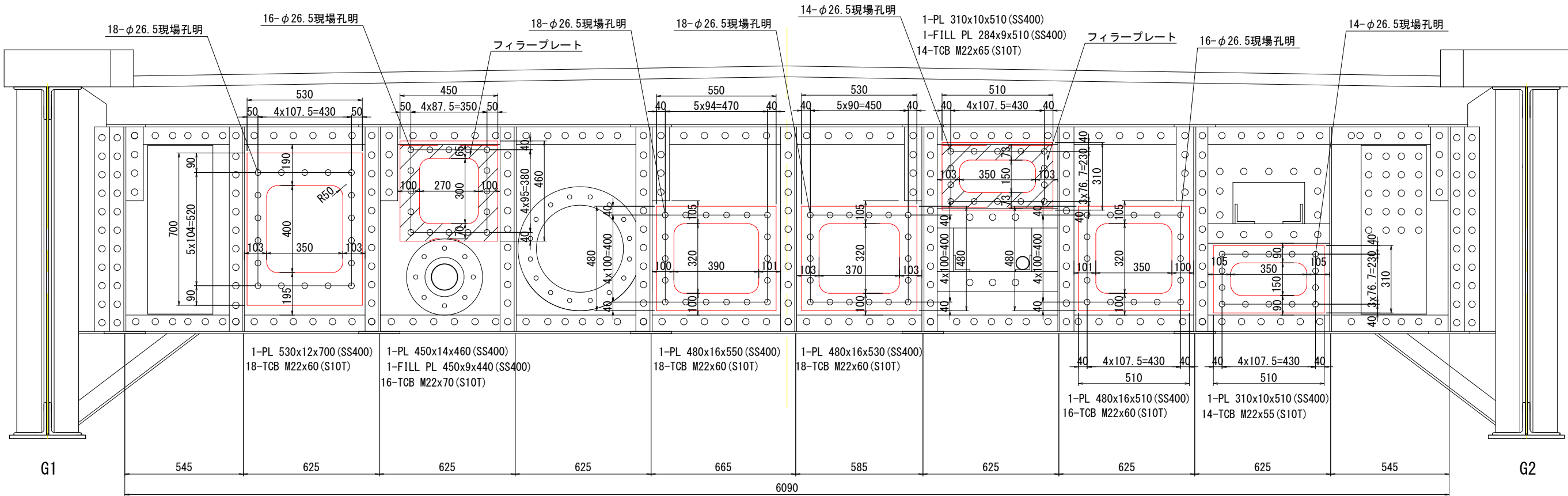
注記

- 別途、横桁孔食部補修工図を参照のこと。
- 施工前においては、現地確認を行い補修箇所及び現地寸法を確認すること。

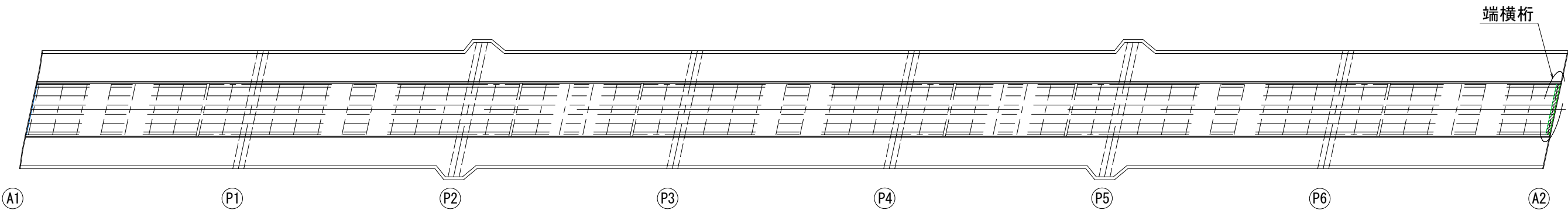
工事名	市道錦町・古京町線（相生橋） 塗装補修工事（8-1）		
図面名	横桁孔食部補修工詳細図 （その2）		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	6 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

横桁改良工詳細図(その1)
端横桁

S=1:10



配置図

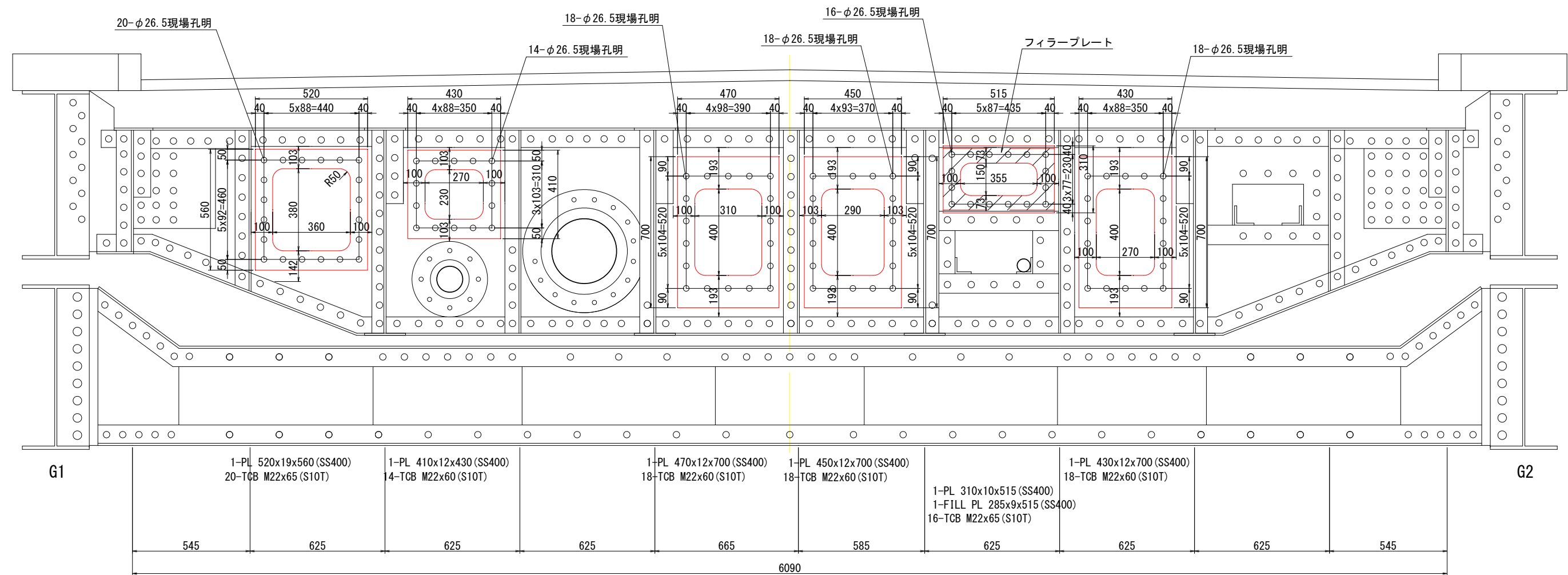


- 注記
- 特記なき材質はすべてSS400とする。
 - 施工前に現況を再度調査、寸法計測し数量算出、工場製作を行うこと。

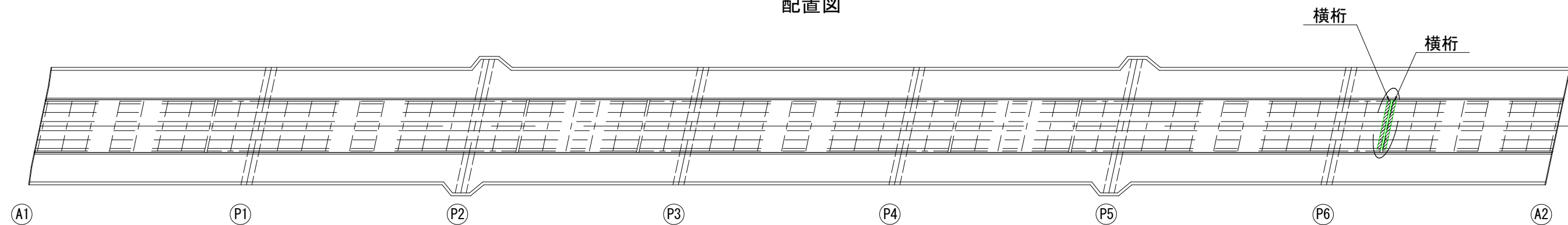
工事名	市道錦町・古京町線（相生橋） 塗装補修工事（8-1）		
図面名	横桁改良工詳細図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	7 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

横桁改良工詳細図(その2)
ゲルバー部 P6-A2

S=1:10



配置図



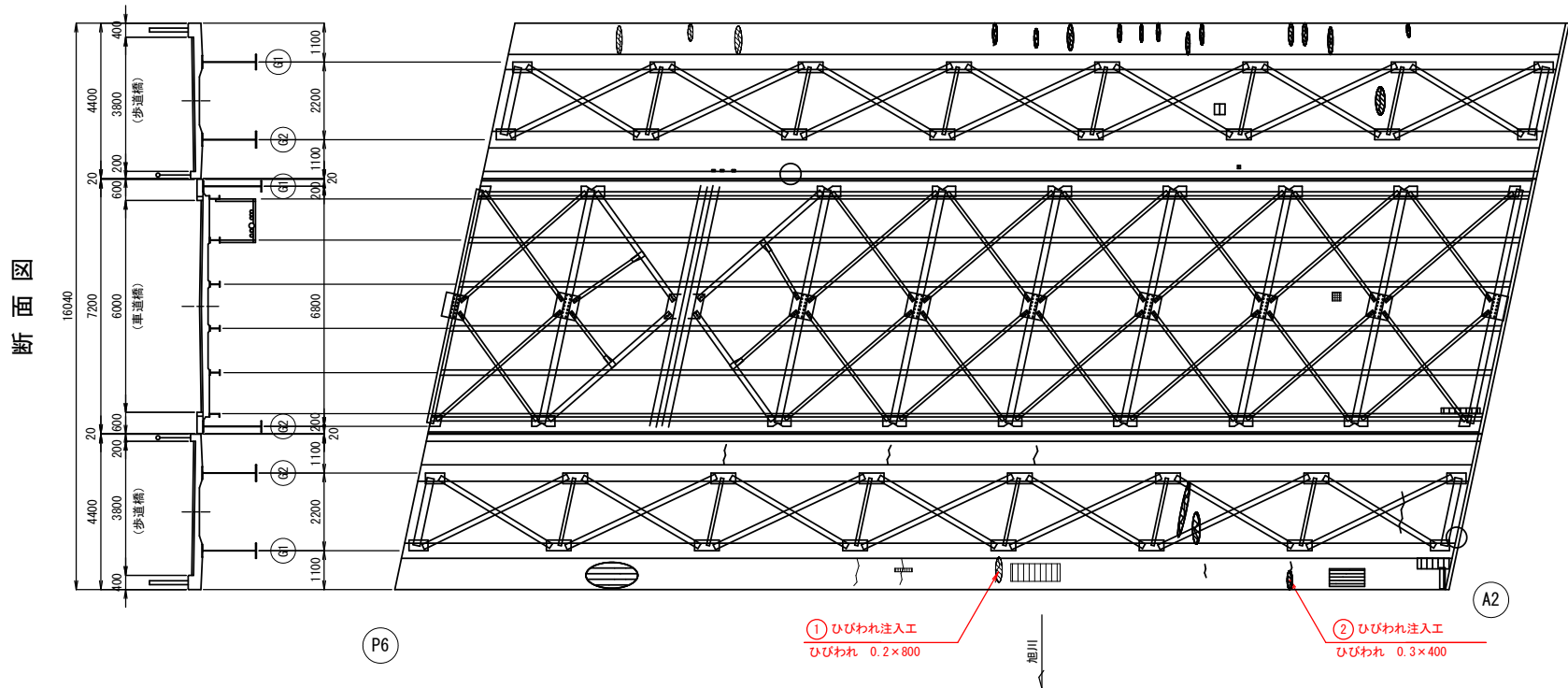
注記

1. 施工前においては、現地確認を行い補修箇所及び現地寸法を確認すること。

工事名	市道錦町・古京町線（相生橋） 塗装補修工事（8-1）		
図面名	横桁改良工詳細図（その2）		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	8 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

上部工補修図
ひびわれ補修工、断面修復工

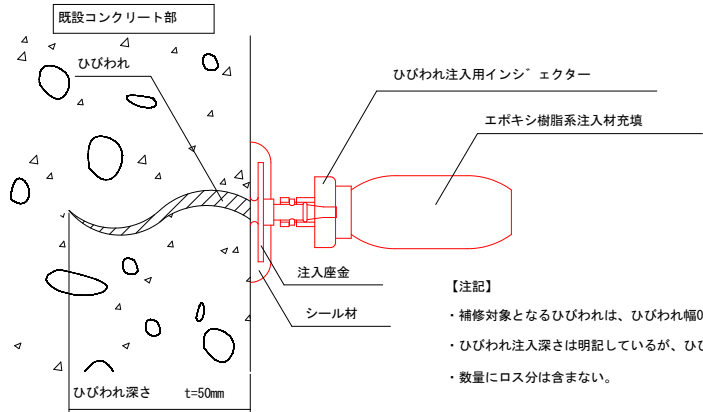
S=1:100



ひびわれ注入工 (第7径間)

番号	ひびわれ幅 (mm)	ひびわれ長さ (m)	箇所数	補修ひびわれ長さ (m)
①	0.20	0.80	1	0.80
②	0.30	0.40	1	0.40
			合計	1.20

ひびわれ補修工
ひびわれ注入工
(ひびわれ幅=0.2mm≦W<1.0mm)
(エポキシ樹脂系注入材 (3種))



- 【注記】
- ・補修対象となるひびわれは、ひびわれ幅0.2mm以上のものとする。
 - ・ひびわれ注入深さは明記しているが、ひびわれの最深部まで確実に注入すること。
 - ・数量にロス分は含まない。

ひびわれ注入工単位数量表

(1m 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
シーリング材	エポキシ樹脂系	kg	0.25	w=1700kg/m3, B=50mm, t=0.3mmと仮定
注 入 材	エポキシ樹脂系 (3種)	ひびわれ幅 0.2 ≦ W < 0.5 mm	kg	0.02
		ひびわれ幅 0.5 ≦ W < 1.0 mm	kg	0.05
		W = ひびわれ幅		
注入器具	30cm間隔	個	4	ひびわれ長さ t=50mm程度に仮定

- 【注記】
- ・施工前においては、現地確認を行い補修箇所及び現地寸法を確認すること。

- 【凡例】
- ひびわれ注入工
ひびわれ幅 (mm) × 長さ (mm)
 - 断面修復工
剥離・鉄筋露出 縦 (mm) × 横 (mm) × 深さ (mm)
うき 縦 (mm) × 横 (mm) × 深さ (mm)

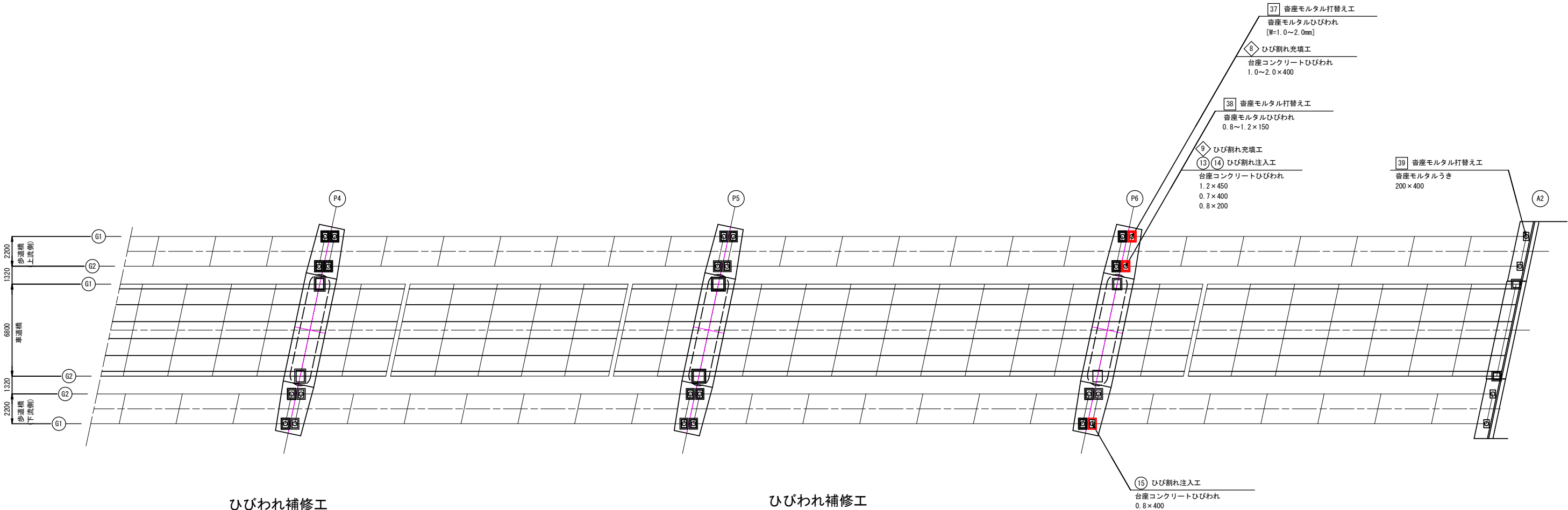
凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		うき		腐食・劣化	
剥離		遊離石灰		その他	
鉄筋露出		漏水			

工事名	市道錦町・古京町線 (相生橋)		
図面名	塗装補修工事 (8-1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	9 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

沓座補修図

S=1:150



ひびわれ補修工

ひびわれ注入工

(ひびわれ幅=0. 2mm≦W<1. 0mm)

(エポキシ樹脂系注入材(1種))

ひびわれ補修工

ひびわれ充填工

(Uカット ひびわれ幅=1. 0mm≦W)

(可とう性エポキシ樹脂系充填材)

沓座モルタル打替え工

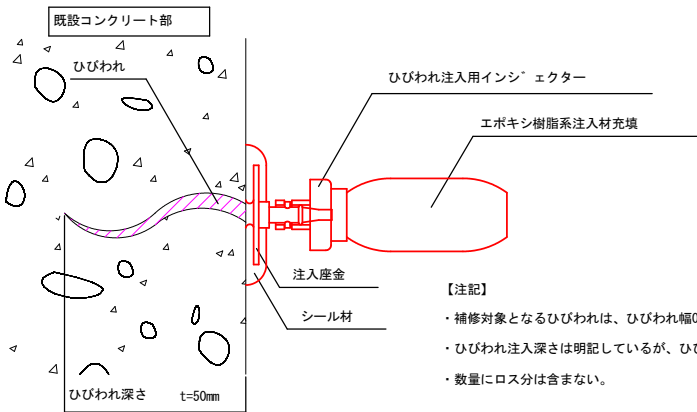
番号	幅 (m)	長さ (m)	面積 (㎡)	高さ (m)	体積 (㎡³)	支承扣除後体積(㎡³)	型枠面積 (㎡)	備 考
37	0. 400	0. 600	0. 240	0. 100	0. 024	0. 011	2. 000	撤去・復旧
38	0. 400	0. 600	0. 240	0. 100	0. 024	0. 011	2. 000	〃
39	0. 400	0. 600	0. 240	0. 100	0. 024	0. 011	2. 000	〃
合 計					0. 072	0. 033	6. 000	

ひびわれ注入工

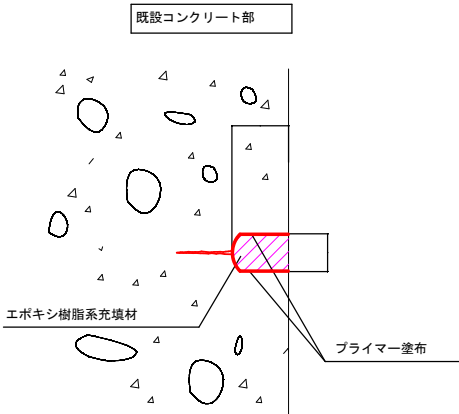
番号	ひびわれ幅 (mm)	ひびわれ長さ (m)	箇所数	補修ひびわれ長さ (m)
13	0. 70	0. 40	1	0. 40
14	0. 80	0. 20	1	0. 20
15	0. 80	0. 40	1	0. 40
			合計	1. 00

ひびわれ充填工

番号	ひびわれ幅 (mm)	ひびわれ長さ (m)	箇所数	補修ひびわれ長さ (m)
8	1. 00～2. 00	0. 40	1	0. 40
9	1. 20	0. 45	1	0. 45
			合計	0. 85



- 【注記】
- ・補修対象となるひびわれは、ひびわれ幅0. 2mm以上のものとする。
 - ・ひびわれ注入深さは明記しているが、ひびわれの最深部まで確実に注入すること。
 - ・数量にロス分は含まない。



ひびわれ充填工単位数量表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
ひびわれ充填延長		m	1. 0	
ひびわれ充填材	可とう性エポキシ樹脂	kg	0. 13	w=1300kg/㎡

【注記】

- ・コンクリート構造物のひびわれに沿って、U型にカットした断面にエポキシ樹脂系の材料を充填する。
- ・フェザーエッジにならないよう端部形成を行うこと。
- ・施工前においては、現地確認を行い補修箇所及び現地寸法を確認すること。

【注記】

- ・施工前においては、現地確認を行い補修箇所及び現地寸法を確認すること。
- ・断面修復工の補修深さについては、損傷深さ及び道路標示方書の最小かぶりから想定値として算出している。

ひびわれ注入工単位数量表

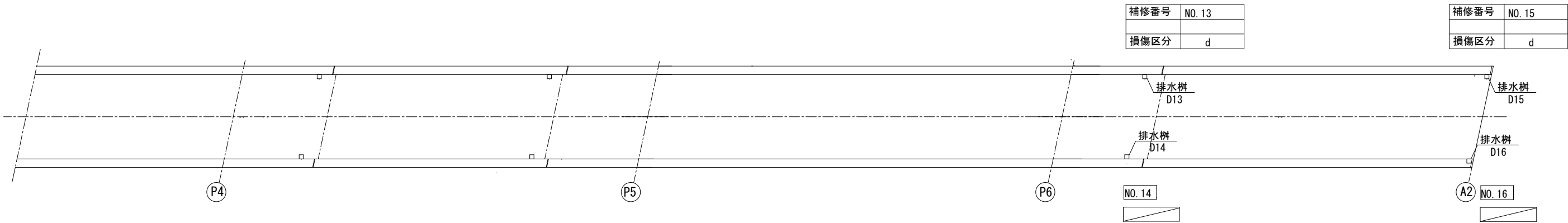
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
シーリング材	エポキシ樹脂系	kg	0. 25	w=1700kg/㎡, B=50mm, t=0. 3mmと仮定
注 入 材	エポキシ樹脂系 (1種)	ひびわれ幅 0. 2 ≦ W < 0. 5 mm	kg	0. 02
		ひびわれ幅 0. 5 ≦ W < 1. 0 mm	kg	0. 05
		W = ひびわれ幅		ひびわれ深さ t=50mm程度に仮定
注入器具	30cm間隔	個	4	

工事名	市道錦町・古京町線（相生橋）			
図面名	沓座補修図			
作成年月日				
縮尺	図示	図面番号	10	/ 15
会社名				
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課			

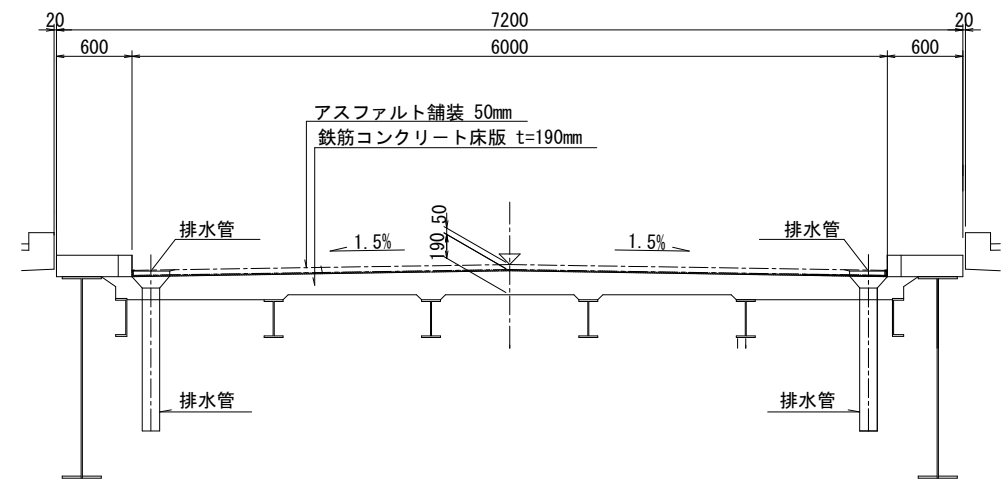
排水管補修詳細図(その1)

S=1/150

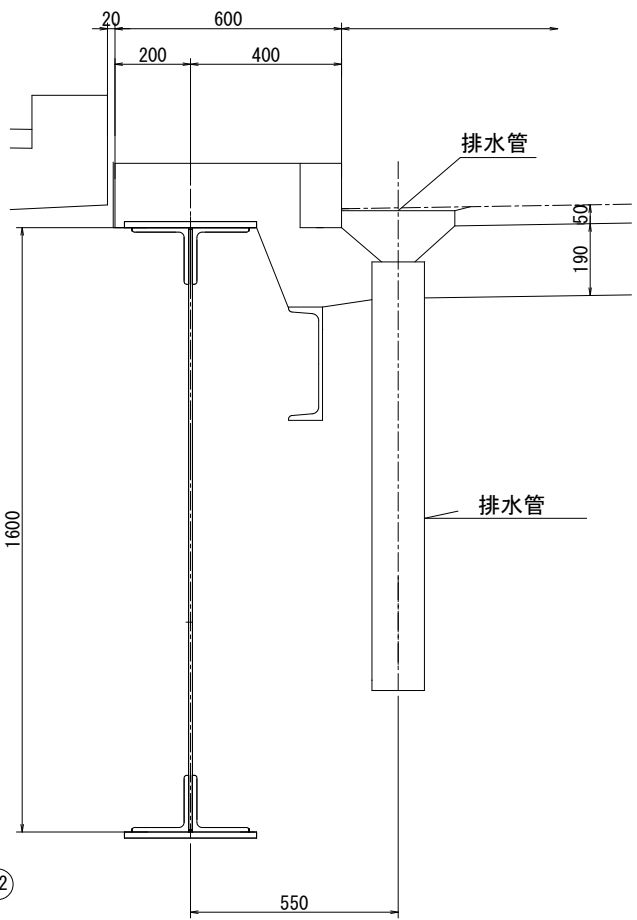
平面図



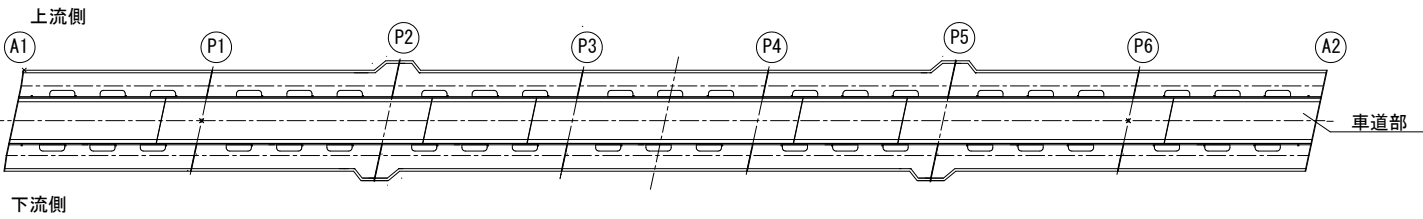
車道部断面図 S=1/30



排水管位置図 S=1/10



配置図



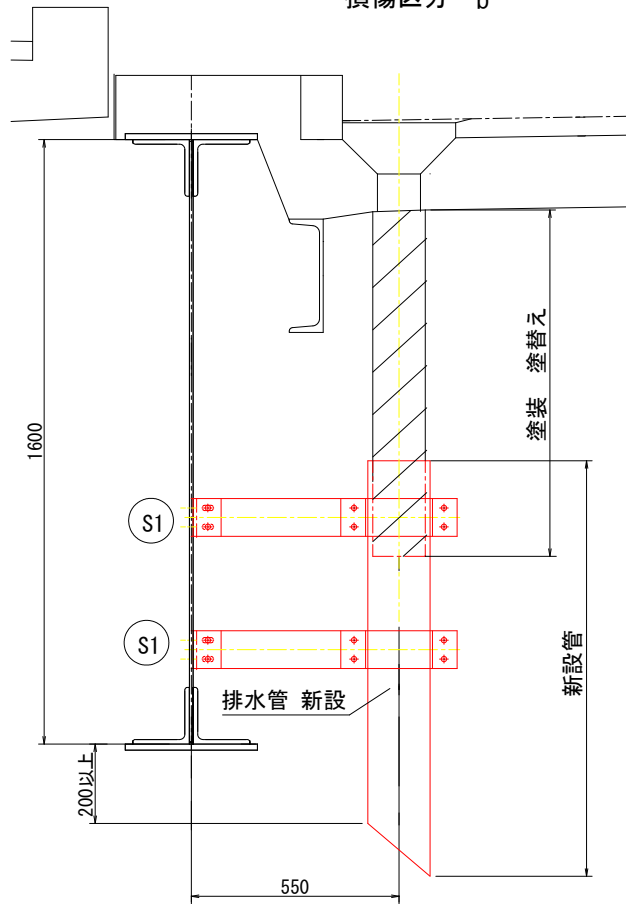
注記)

1. 施工に先立って、必ず現地計測を行い、施工数量と現地状況を確認すること。
2. 上記確認後、施工箇所及び寸法等について監督員と事前協議を行い、調整の上、施工すること。

工事名	市道錦町・古京町線（相生橋） 塗装補修工事（8-1）		
図面名	排水管補修詳細図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	11 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

$$S=1/10$$

損傷区分 b



補修番号	NO. 13	NO. 14	NO. 15	NO. 16	
写真番号					
部 材	排 水 管				
損傷区分	b 腐食				
補修方法	塗装				

2-取付金具 (S1)

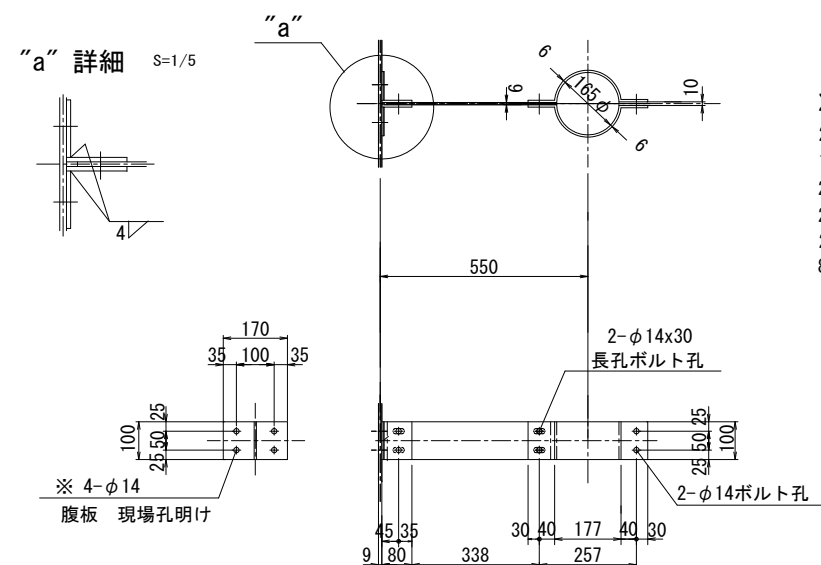
② 塗装 塗替え

- ②-1 既設排水管の 塗装を行う
- ②-2 主桁 腹板に取付金具用の孔明けを行う
- ②-3 取付金具 排水管の取付を行う

1. 特記なき材質は SS400 とする。
2. 施工に先立って、必ず現地計測を行い、施工数量と現地状況を確認すること。
3. 上記確認後、施工箇所及び寸法等について監督員と事前協議を行い、調整の上、施工すること。

取付金具 $S=1/10$

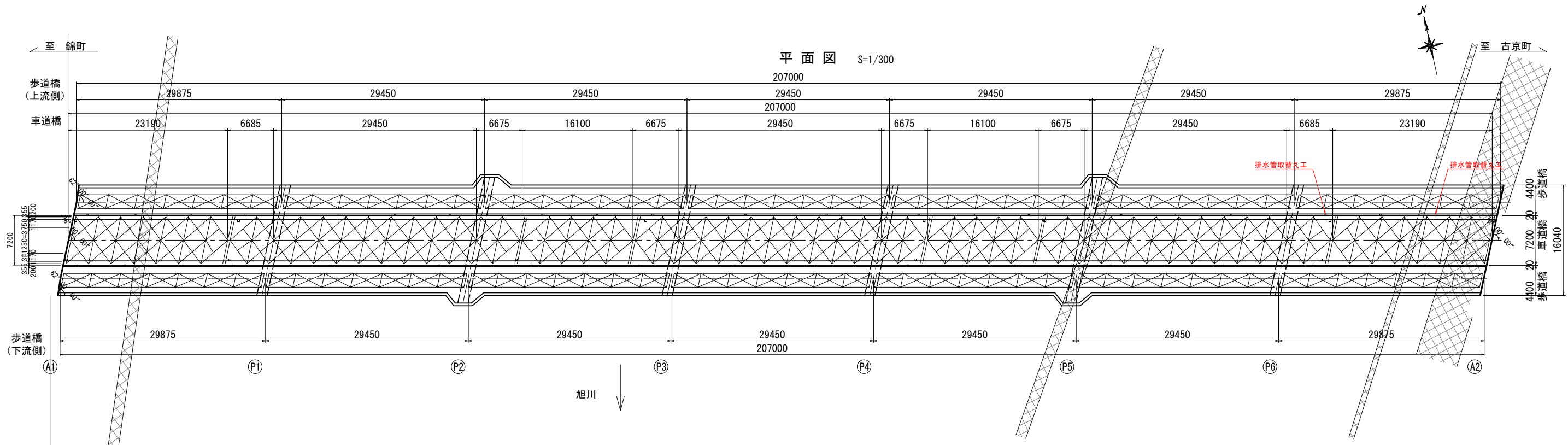
S1

$$S=1/5$$


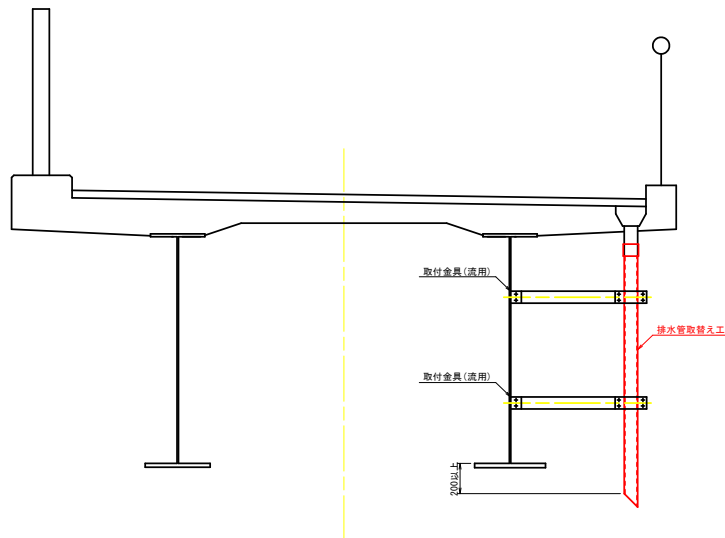
2-PL 100x6x 412
1-PL 100x6x 433
2-PL 100x6x 80 (SM400A)
2-PL 100x6x 76 (SM400A)
2-BN M12x45 (2-W付)
8-BN M12x40 (2-W付)

工事名	市道錦町・古京町線（相生橋） 塗装補修工事（８－１）		
図面名	相生橋 排水管補修詳細図（その２）		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	12 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

相生橋 排水管補修詳細図 (その3)



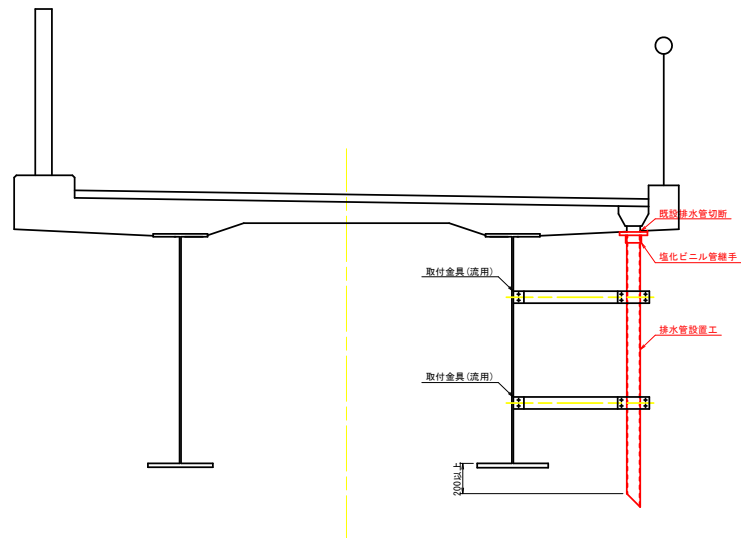
排水管取替え工①詳細図

 $S=1/25$ 

1-VP 75A × 1750

排水管取替え工②詳細図

S=1/25



1-VP 75A×1800
1-塩化ビニル管継手 (φ75用)

【注記】

- ・施工前においては、現地確認を行い補修箇所及び現地寸法を確認すること。
- ・取付金具は既設流用としているが、損傷が著しい等流用困難な場合は監督員と協議を行うこと。

工事名	市道錦町・古京町線（相生橋） 塗装補修工事（8－1）		
図面名	相生橋 排水管補修詳細図（その3）		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	13 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

上流側歩道部・下流側歩道部

$\textcircled{\text{P6}} \sim \textcircled{\text{A2}}$

全4箇所

	L	L1	L2
P6	4498	3885	4444
A2	4467	3854	4413

	L	L1	L2
P6	4498	3885	4444
A2	4498	3885	4444

橋台側

桁側

50

51

乾式止水材

M8皿ボルト付アングル

シーリング材
25mm角

シーリング材
6mm角

"a"

M8コンクリートアンカー
(Bolt M8x25, 1-1付)

止水ゴムバックシン
R-200

120

123

6 40-250

シーリング材
6mm角

引えFB (22x6t)

()内は、斜角寸法を示す

()内は、斜角寸法を示す

()内は、斜角寸法を示す

Technical drawing of a mechanical part with dimensions. The part is shown in a cross-sectional view. The overall width is 40. The overall height is 40. The top edge has a horizontal section of 22 and a vertical section of 18. The bottom edge has a horizontal section of 35 and a vertical section of 6. The part is shown in a cross-sectional view with a red outline and a blue shaded area. The dimensions are: 40 (width), 40 (height), 22 (top horizontal), 18 (top vertical), 35 (bottom horizontal), 6 (bottom vertical), 22 (right vertical), 66 (internal horizontal), and 3 (internal vertical).

Technical drawing of a bracket. The drawing shows a vertical plate with a horizontal flange. Dimensions are indicated: 5 for the thickness of the vertical plate and 35 for the length of the horizontal flange. A callout points to the flange with the text: 3-M8x40皿ボルト (3-U. Nut, 3-W) (SS400) (溶融亜鉛メッキ). A small detail view of a corner is shown in the upper left.

No. 16

Technical drawing of a rectangular component. The top width is labeled 170. The bottom width is labeled 100. The height is labeled 100. The component is divided into three horizontal sections: a top section labeled 伸縮部 (Expansion/Contraction Section), a middle section labeled 止水膜 (Waterproofing Membrane), and a bottom section labeled 支柱層 (Support Layer). A label 防塵層 (Dustproof Layer) points to the right side of the component.

※漏水防止材の厚さ10mmは製作時の厚さであり、施工時には圧着させる。

端部ジャバラ蓋

排水ゴム管

500
50 200 200 50

押さえF.B S=1:20

500
50 200 200 50

SS400
ツギ

3-φ12孔

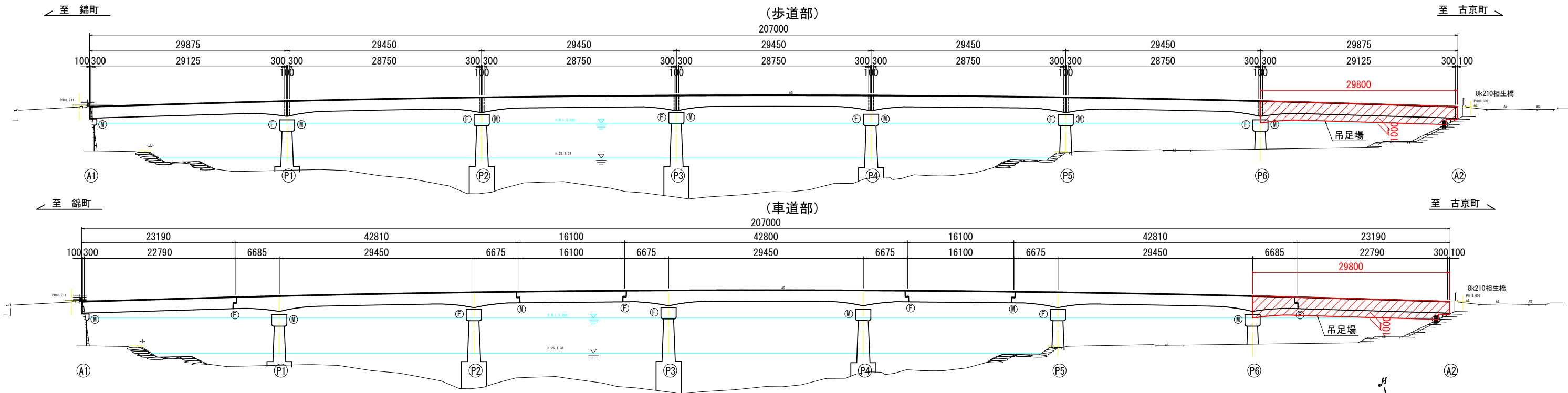
注記

1. 現地調査を行い、図面寸法と照合を行うこと。
2. 既設止水材撤去後、リップ、通行管等がない確認すること。
3. 上記調査結果より、必要な場合は設計変更すること。

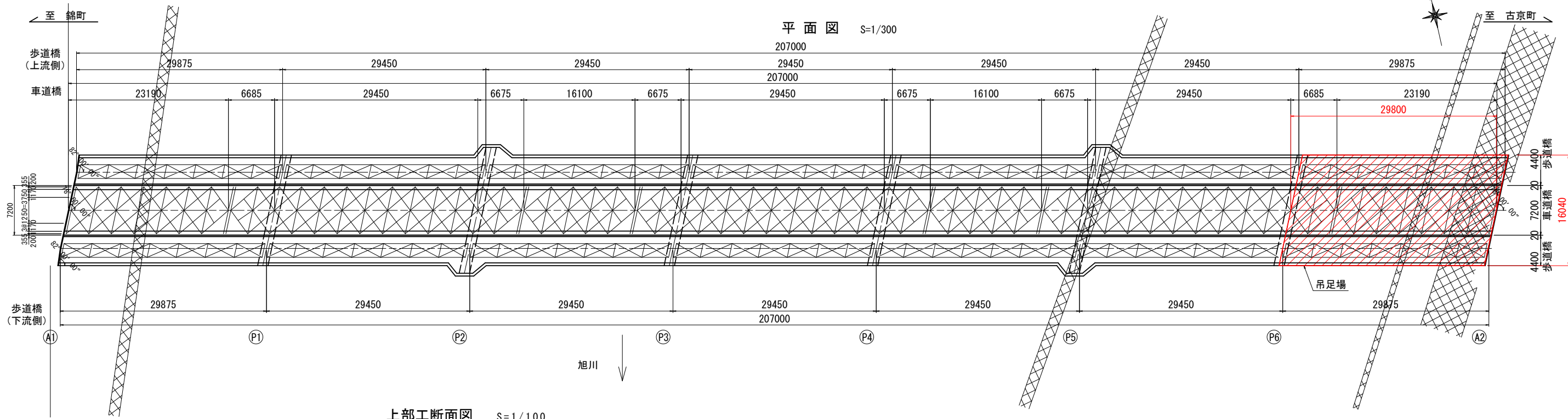
工事名	市道錦町・古京町線（相生橋） 塗装補修工事（8-1）		
図面名	伸縮装置止水工図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	14 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

施工計画図（参考図）（P6-A2）

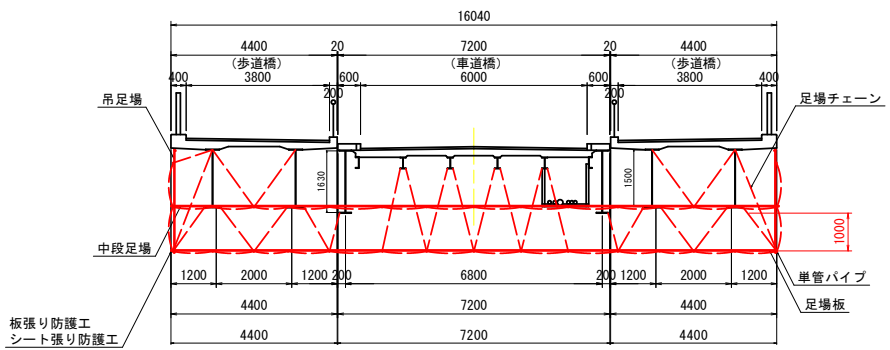
側面図 S=1/300



平面図 S=1/300



上部工断面図 S=1/100



【注記】
-本仮設は参考図であり、詳細は施工業者にて立案すること。
-作業員の安全性を考慮し、足場には必要に応じて手摺設置等の安全対策を行うこと。
-本橋の既設塗膜には事前調査の結果、鉛が含まれていることが確認された。
そのため、足場工は完全防護とすること。

工事名	市道錦町・古京町線（相生橋） 塗装補修工事（8-1）		
図面名	施工計画図（参考図）（P6-A2）		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	15 / 15
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		